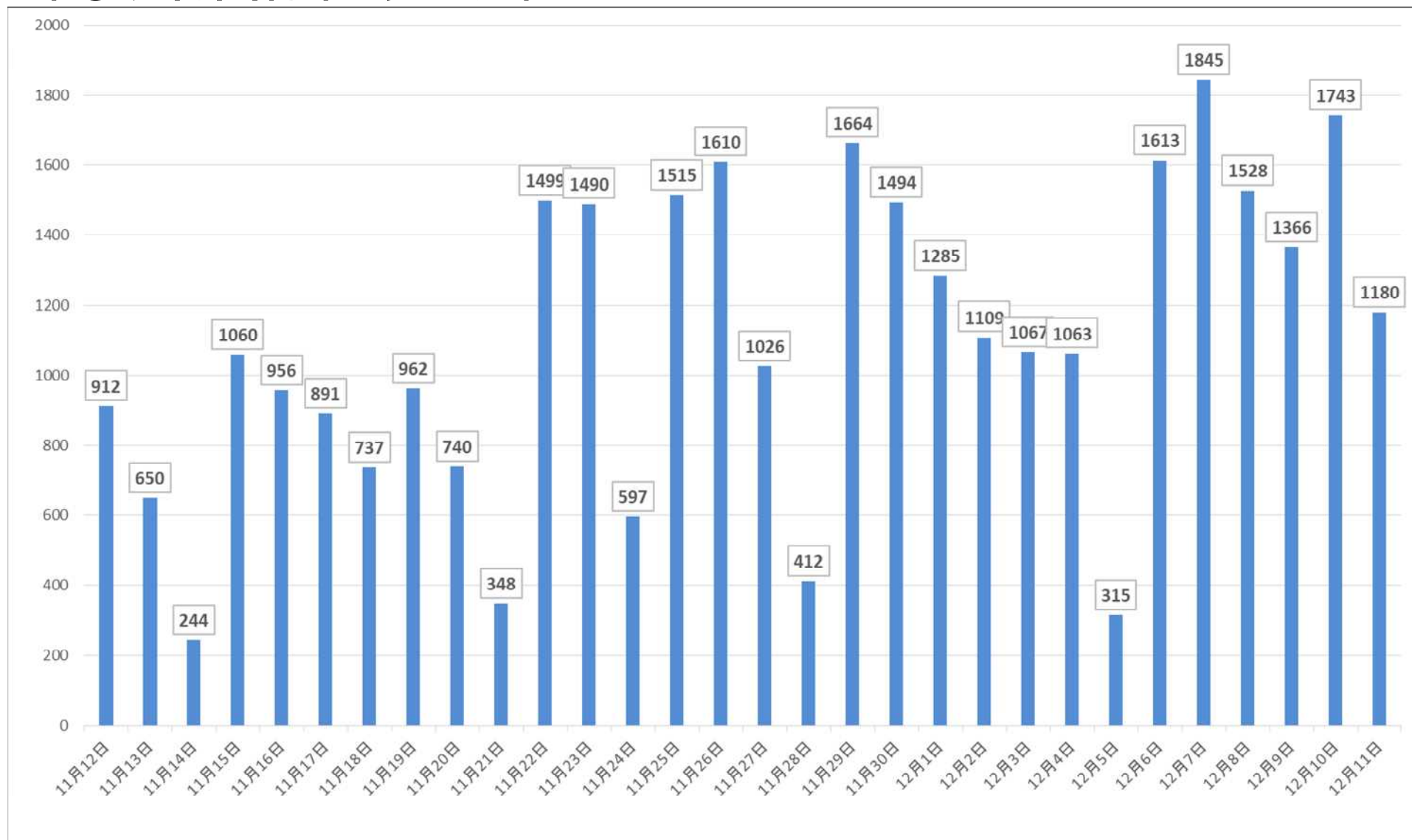


厚生・産業常任委員会 資料3－1
令和4年（2022年）12月15日
健康医療福祉部感染症対策課

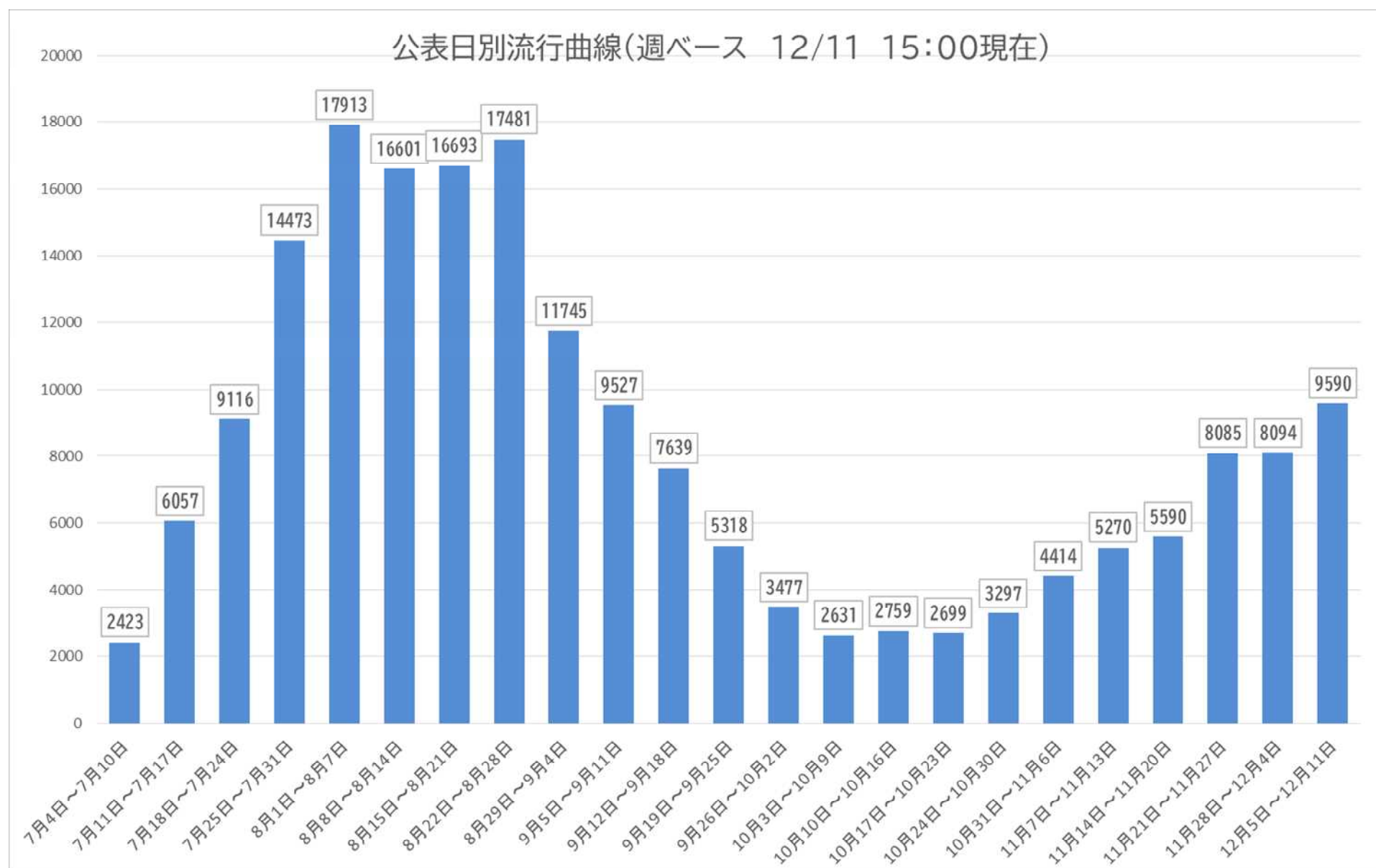
新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

県内の感染動向について(12/11現在)

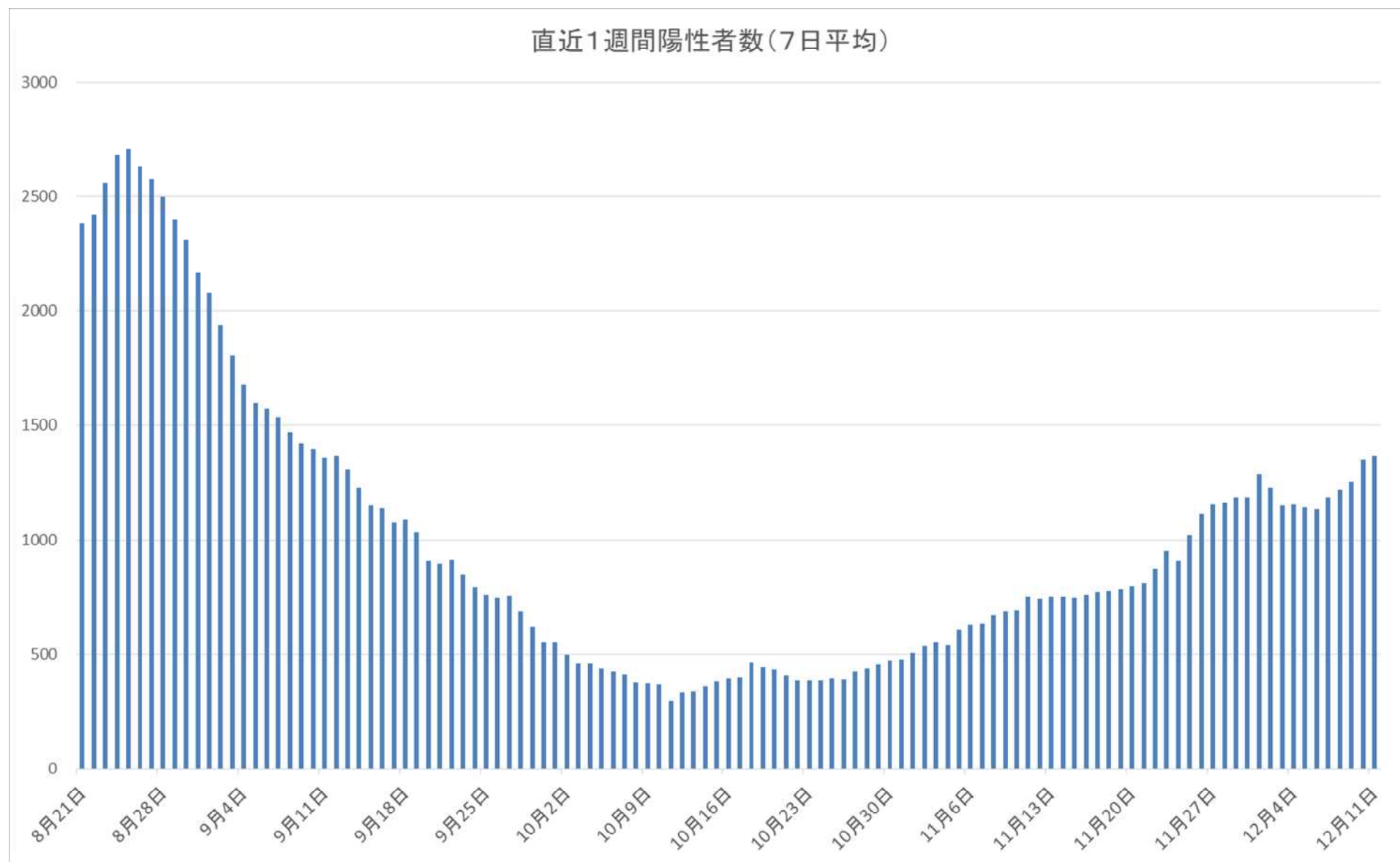
1)①流行曲線(公表日別)



流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

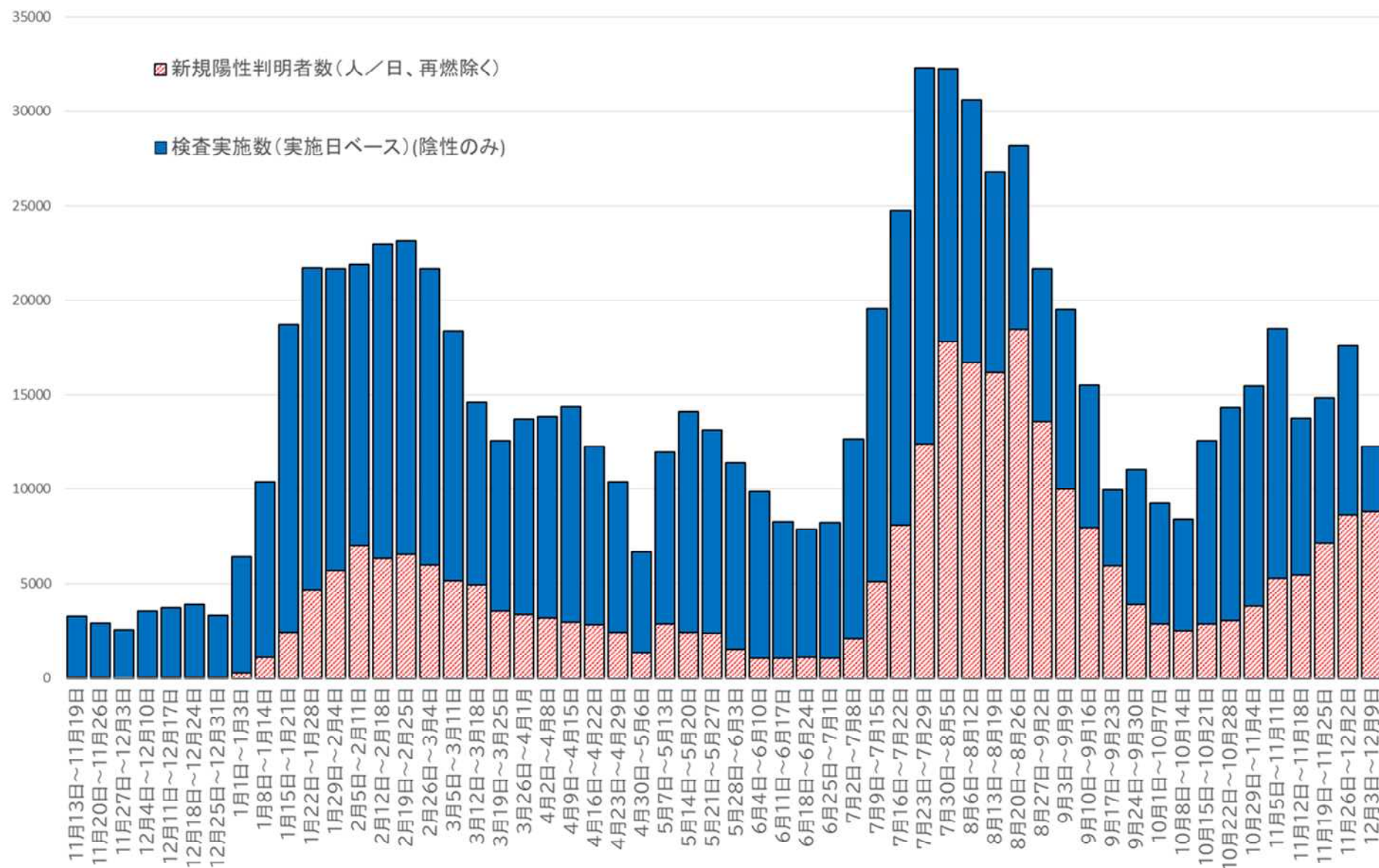


流行曲線(7日間移動平均)

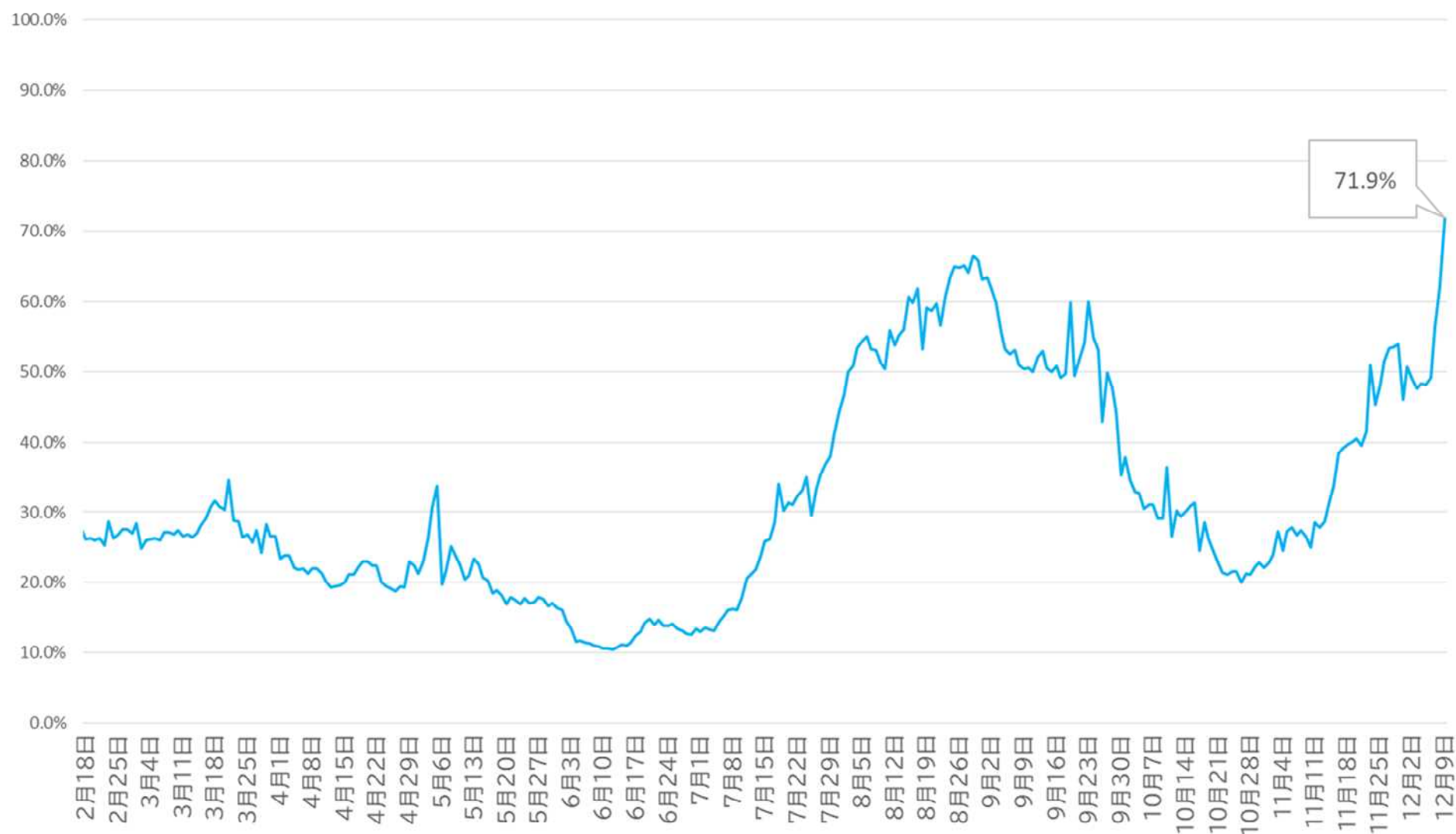


※集団感染発生や曜日による数値のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値をグラフで示したものです。

2)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



3)陽性率(7日間移動平均)



陽性率の7日間の移動平均（その日までの7日間の平均）を見ると、12月9日現在の陽性率は71.9%でした。※検査実施日ごとの報告件数（抗原検査を含む）に基づく陽性率

4) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

病床数	入院者数			空床数
		県内発生	その他	
493	333	310	23	160

宿泊療養 部屋数	療養者数			その他	空数
		県内発生	県外発生		
502	73	73	0	31	398

5) 県内の陽性者発生状況

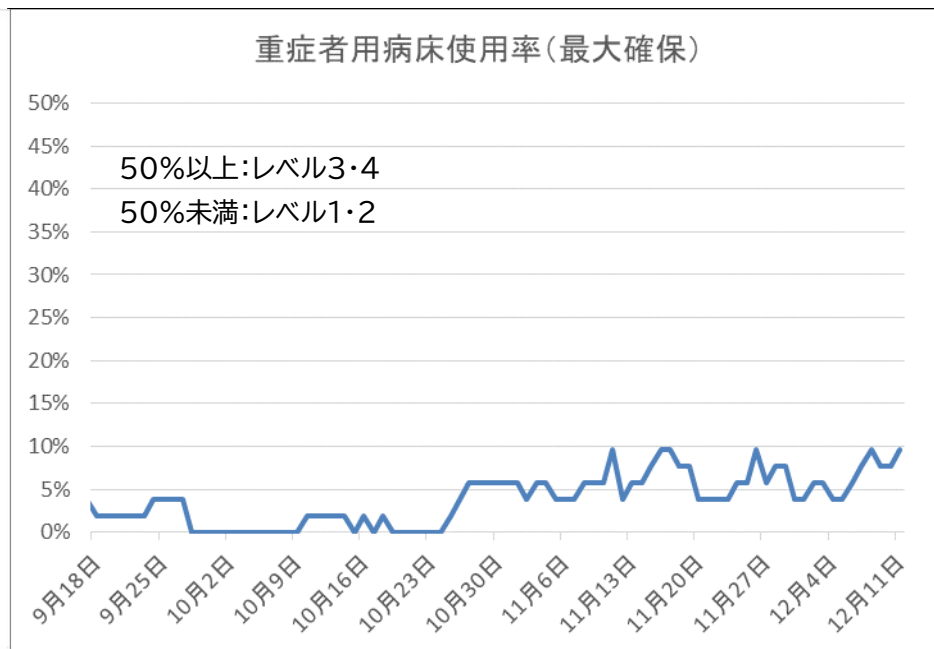
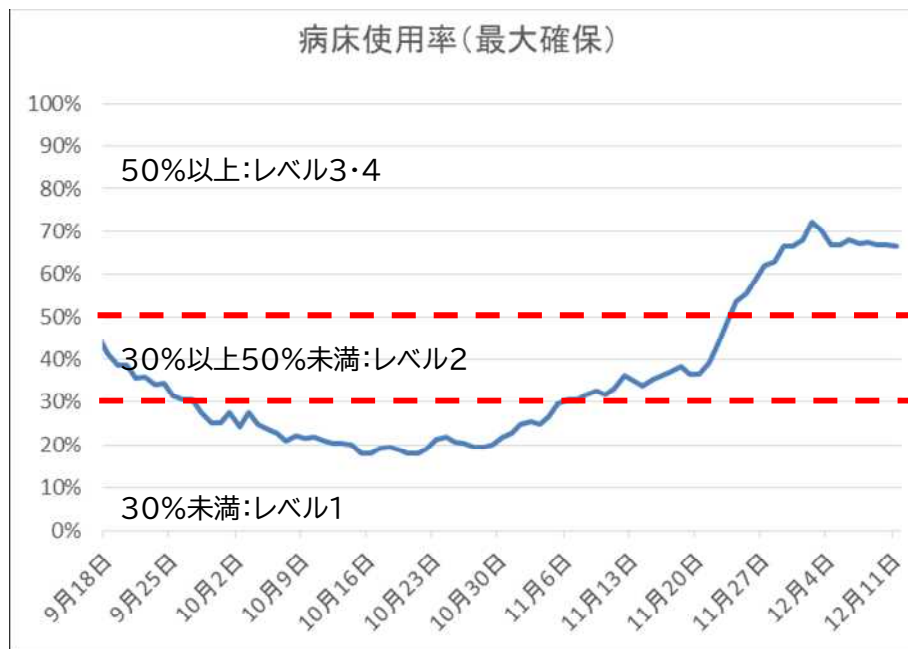
陽性者累計	入院患者 (県内発生)				死亡
		軽症	中等症	重症	
286,870	310	219	86	5	416

重症：ICUに入室または
人工呼吸器・ECMO(体外式膜型人工肺)が必要
中等症：酸素投与が必要

6) 各指標の状況

現時点の確保病床の占有率※1	67.5%	※1 現時点の確保病床の数、493床に対する割合
最大確保病床の占有率(レベル判断指標)※2	66.5%	※2 最大確保病床数(ピーク時に確保予定である病床数)、501床に対する割合
うち重症者用病床の最大確保病床の占有率(レベル判断指標)※3	9.6%	※3 最大確保病床数(ピーク時に確保予定である病床数)、52床に対する割合
直近1週間における人口10万人当たりの新規報告数	678.2人	
直近1週間と先週1週間の陽性者数の比較※4	多い	※4 直近一週間の陽性者数が先週一週間に比較して多いか少ないか記載
直近1週間のPCR等陽性率※5	71.9%	
PCR等検査数(直近1週間分)	12,240件	※5 報告受領件数(抗原検査を含む)に基づく陽性率(自己検査・無料検査は含まない。)
検査数累計(PCRおよび抗原検査の総数)	1,110,052件	

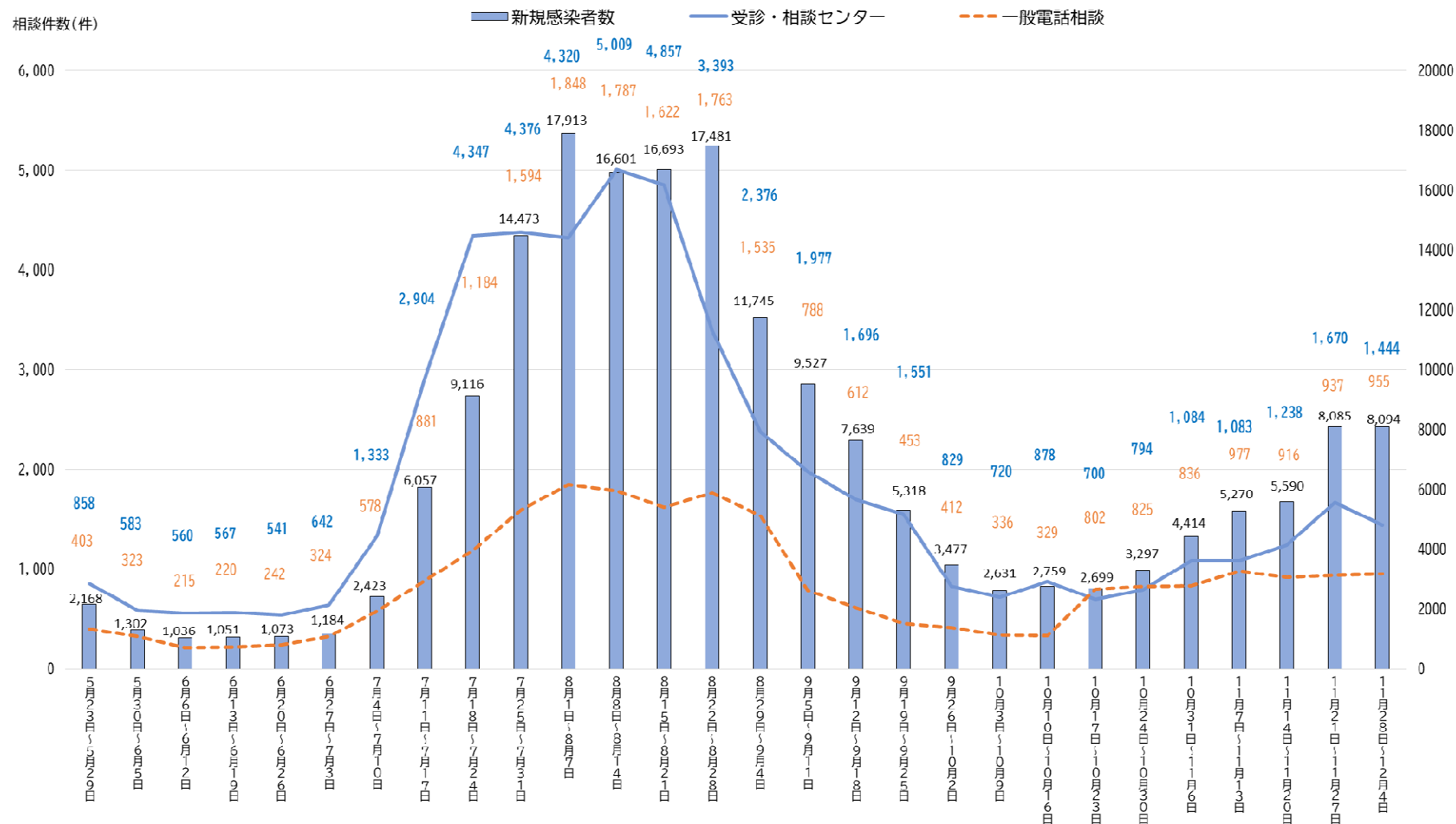
7)その他の県内の感染動向



8)相談体制について

相談件数と新規感染者数（週計）

新規感染者数(人)



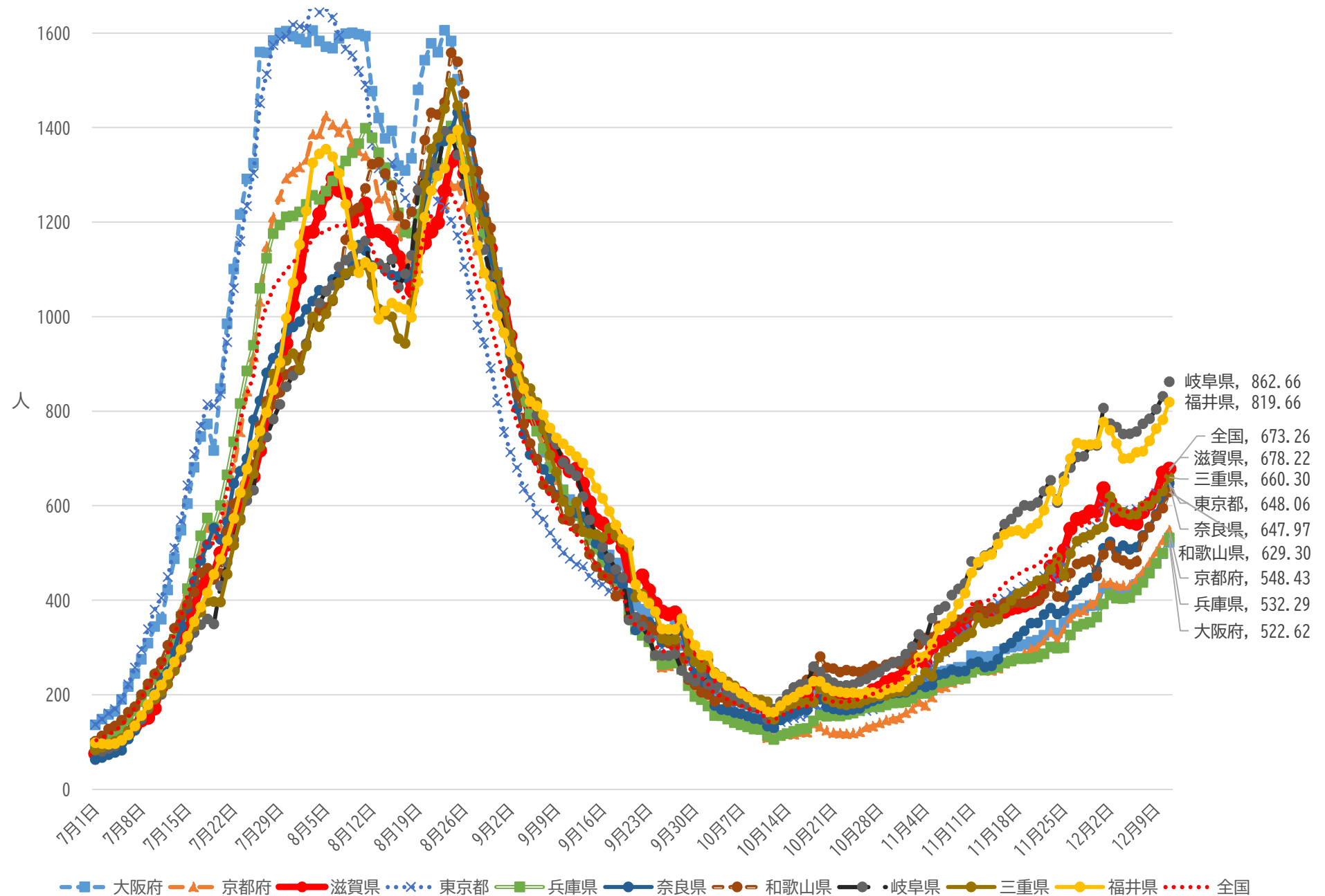
9)2022年1月以降に発生したクラスターの状況

発生年月	発生件数
2022年1月	66
2022年2月	86
2022年3月	48
2022年4月	40
2022年5月	29
2022年6月	17
2022年7月	71
2022年8月	99
2022年9月	76
2022年10月	31
2022年11月	76
2022年12月	40
合計	679

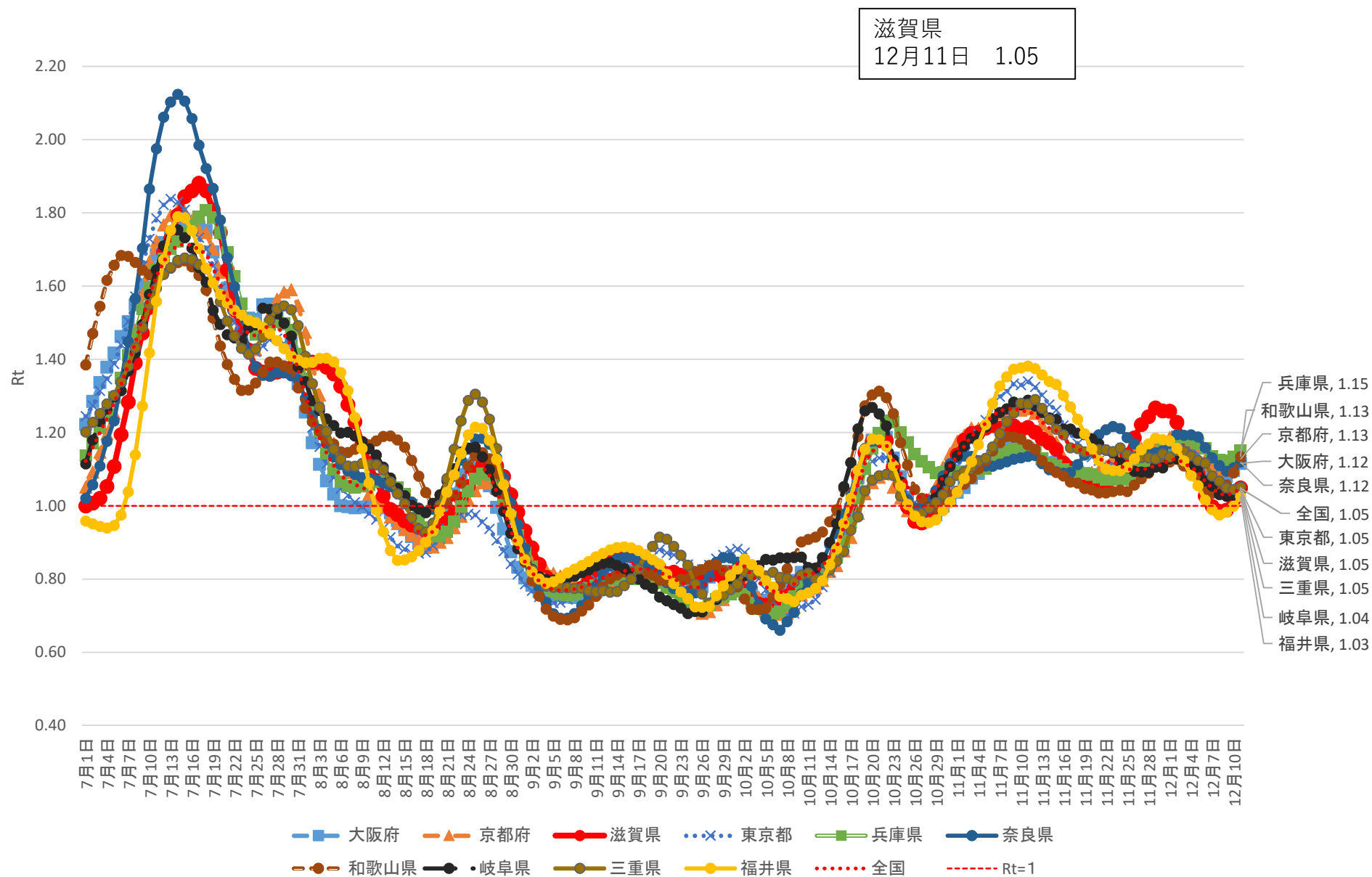
	第7波(7/1～10/31)	第8波(11/1～12/11)
発生施設	発生件数	発生件数
飲食店	0	0
介護関連事業所	164	69
学校	16	6
医療機関	41	17
事業所	1	1
保育関連施設	26	11
障害福祉関連事業所	28	12
会食	1	0
文化・スポーツ活動	0	0
合計	277	116

直近1週間のクラスター発生状況		
発生施設	陽性者数(人)	公表日
介護関連事業所309	7	12月5日
介護関連事業所310	5	12月5日
介護関連事業所311	20	12月5日
介護関連事業所312	9	12月5日
障害福祉関連事業所59	6	12月6日
介護関連事業所313	8	12月6日
医療機関102	5	12月6日
介護関連事業所314	9	12月7日
介護関連事業所315	5	12月7日
障害福祉関連事業所60	5	12月7日
介護関連事業所316	7	12月8日
介護関連事業所317	6	12月8日
障害福祉関連事業所61	7	12月8日
障害福祉関連事業所62	5	12月8日
医療機関103	5	12月9日
学校97	10	12月9日
学校98	11	12月9日
医療機関104	8	12月10日
介護関連事業所318	6	12月10日
介護関連事業所319	6	12月10日
介護関連事業所320	10	12月11日

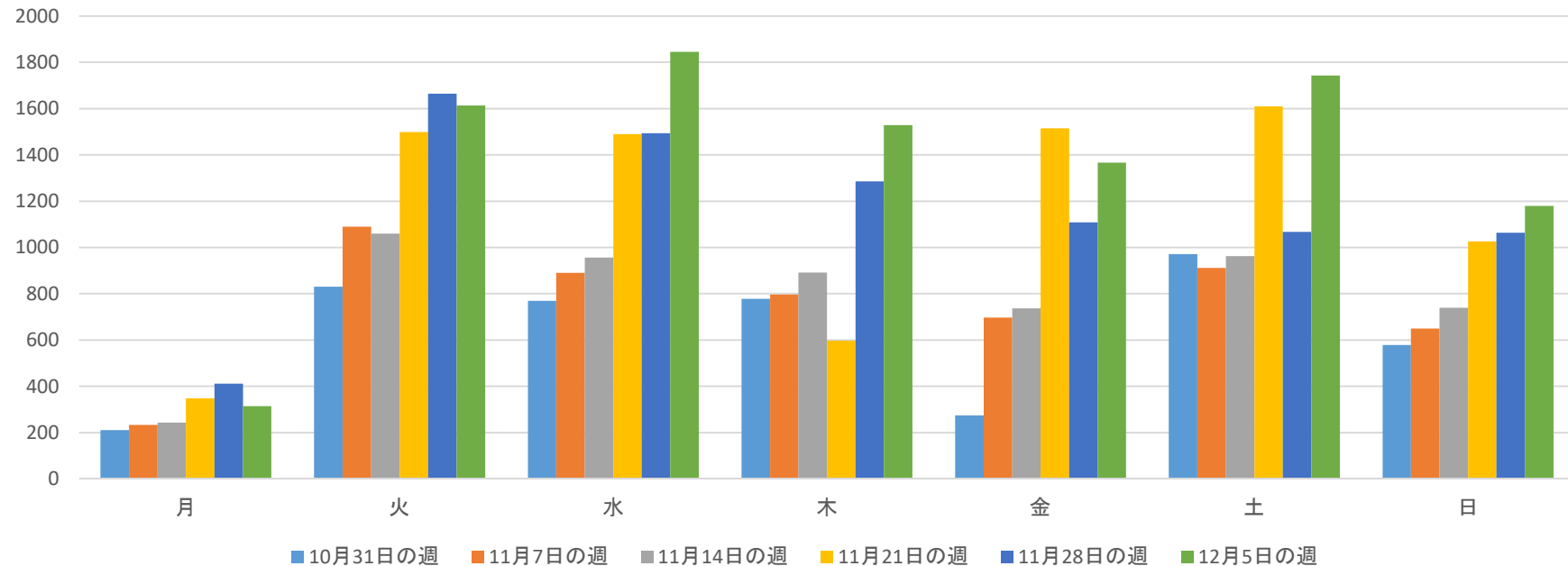
近隣府県の10万人当たりの新規感染者数の推移(直近7日間の累計患者数)(R4.7/1-12/11)



実効再生産数の推移(7日間移動平均) (R4.7/1-12/11)



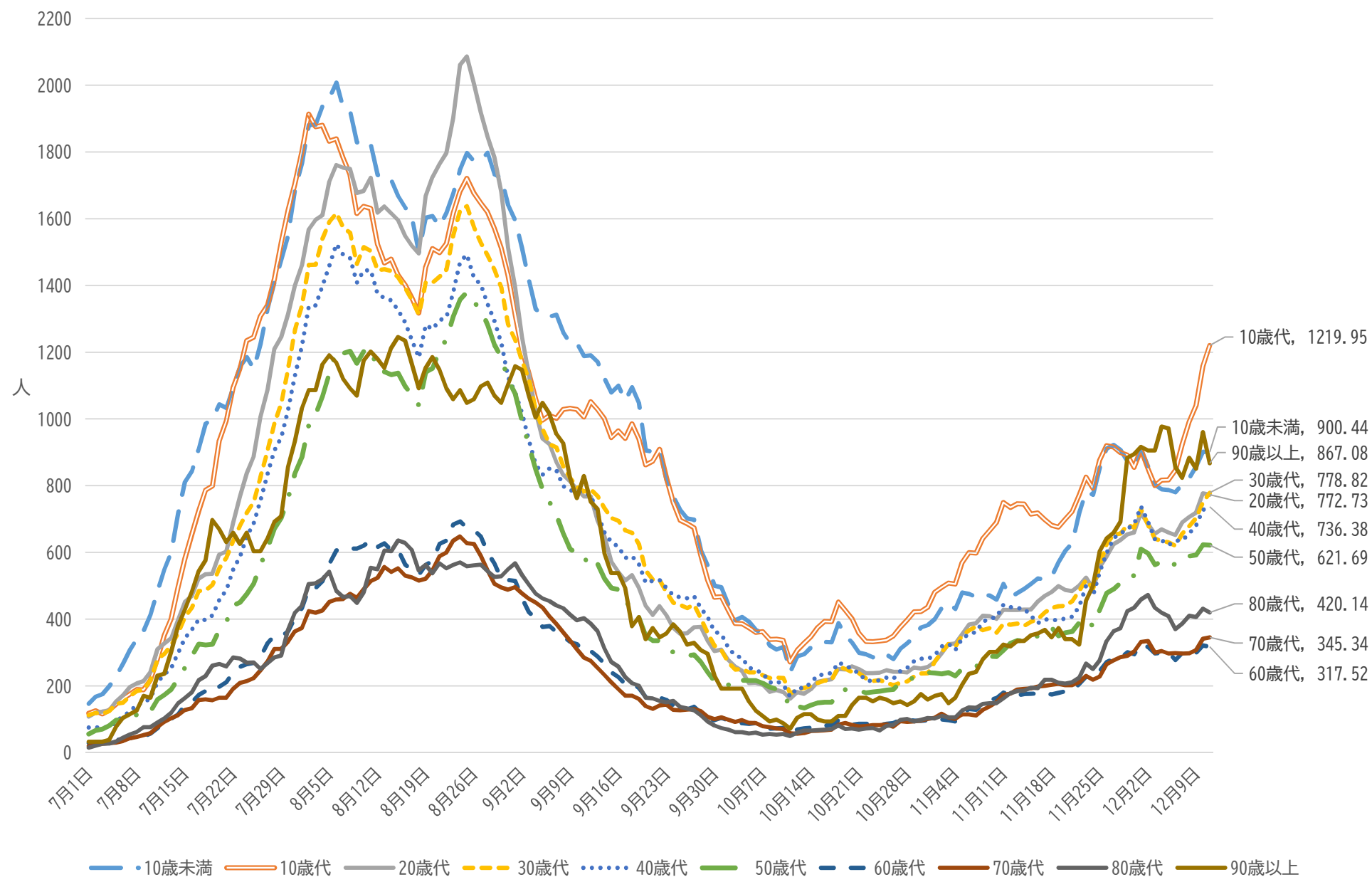
曜日ごとの新規陽性者数の推移



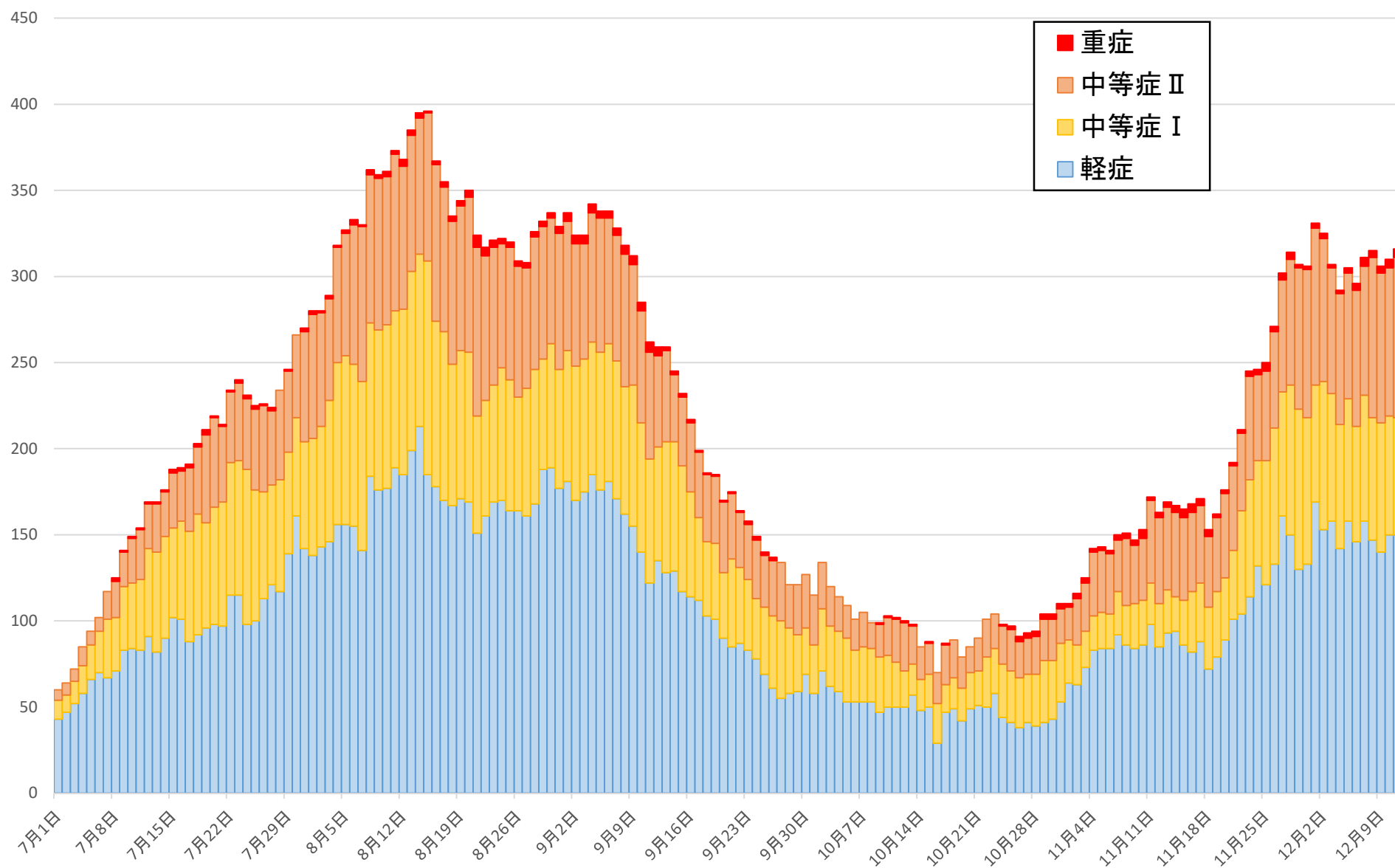
月	火	水	木	金	土	日	週合計	今週/先週比
10/31	11/1	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	4414	1.34
211	831	769	778	275	971	579		
11/7	11/8	11/9	11/10	11/11	11/12	11/13	5270	1.19
234	1090	890	797	697	912	650		
11/14	11/15	11/16	11/17	11/18	11/19	11/20	5590	1.06
244	1060	956	891	737	962	740		
11/21	11/22	11/23	11/24	11/25	11/26	11/27	8085	1.45
348	1499	1490	597	1515	1610	1026		
11/28	11/29	11/30	12/1	12/2	12/3	12/4	8094	1.00
412	1664	1494	1285	1109	1067	1063		
12/5	12/6	12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	9590	1.18
315	1613	1845	1528	1366	1743	1180		

黄色は先週の同じ曜日から増

滋賀県 年代別10万人あたり新規陽性者数推移(直近7日間の累計患者数) (R4.7/1~12/11) 日別・公表日



滋賀県 入院者の重症度推移(R4.7/1～12/11) 日別・公表日

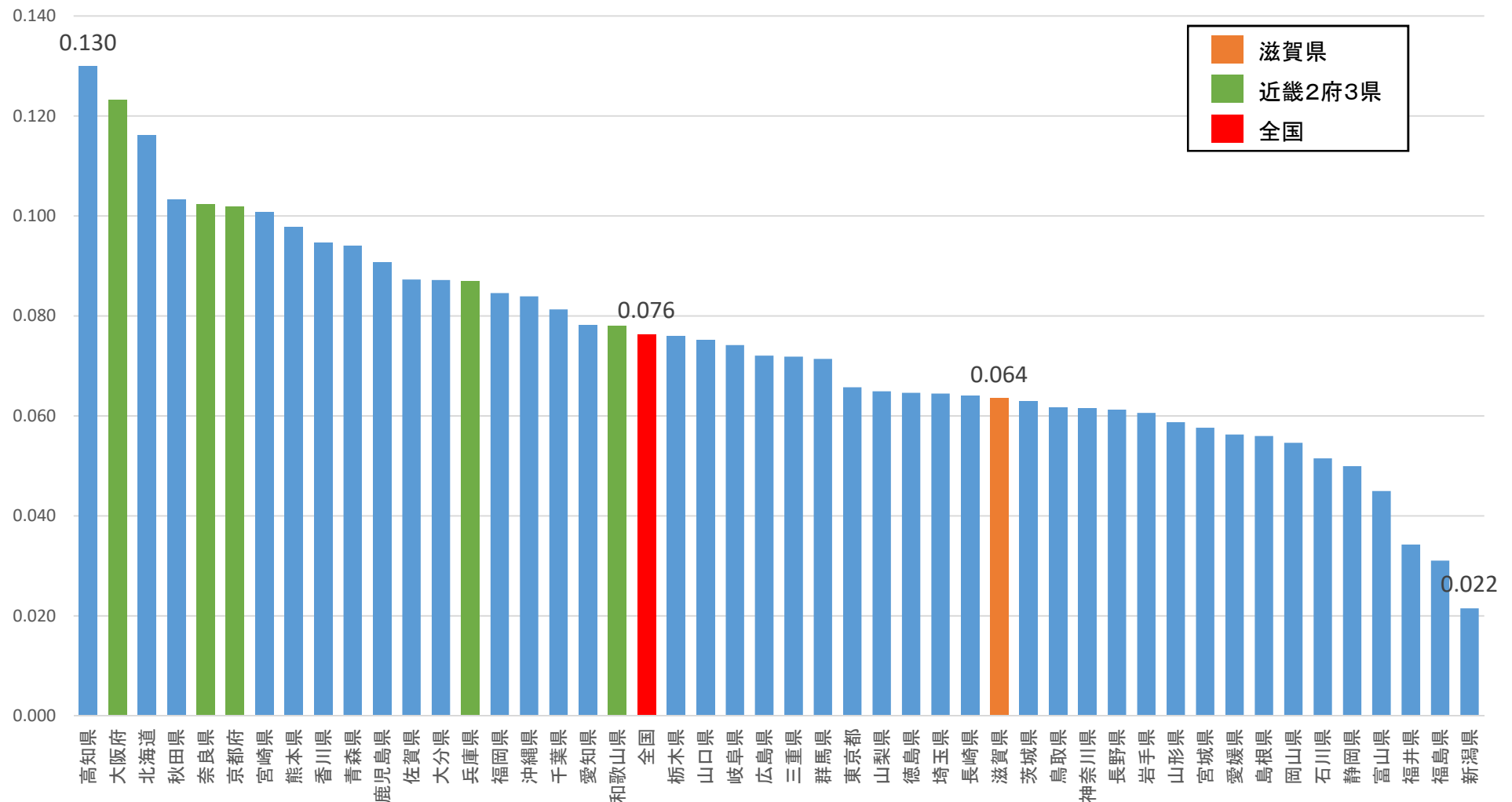


コントロールセンター通信より

滋賀県 R4.7/1～12/11の重症度

年代	期間: 7/1～10/31				期間: 11/1～12/11			
	陽性者数	中等症Ⅰ	中等症Ⅱ	重症	陽性者数	中等症Ⅰ	中等症Ⅱ	重症
10歳未満	23029	68 (0.30%)	14 (0.06%)	2 (0.009%)	5492	4 (0.07%)	8 (0.15%)	0 (-)
10歳代	23254	51 (0.22%)	9 (0.04%)	1 (0.004%)	7214	2 (0.03%)	1 (0.01%)	0 (-)
20歳代	20248	68 (0.34%)	9 (0.04%)	0 (-)	4879	4 (0.08%)	4 (0.08%)	0 (-)
30歳代	22754	95 (0.42%)	13 (0.06%)	0 (-)	5785	11 (0.19%)	3 (0.05%)	0 (-)
40歳代	24075	116 (0.48%)	26 (0.11%)	3 (0.012%)	6493	14 (0.22%)	7 (0.11%)	2 (0.031%)
50歳代	16254	126 (0.78%)	40 (0.25%)	8 (0.049%)	4368	19 (0.43%)	19 (0.43%)	1 (0.023%)
60歳代	9246	137 (1.48%)	60 (0.65%)	7 (0.076%)	2637	52 (1.97%)	28 (1.06%)	3 (0.114%)
70歳代	6063	266 (4.39%)	188 (3.10%)	9 (0.148%)	1964	88 (4.48%)	89 (4.53%)	2 (0.102%)
80歳代	3828	366 (9.56%)	386 (10.08%)	21 (0.549%)	1383	143 (10.34%)	173 (12.51%)	5 (0.362%)
90歳以上	1858	245 (13.19%)	307 (16.52%)	3 (0.161%)	622	86 (13.83%)	105 (16.88%)	11 (1.768%)
合計	150609	1538 (1.02%)	1052 (0.70%)	54 (0.036%)	40837	423 (1.04%)	437 (1.07%)	24 (0.059%)
(再掲)60歳未満	129614	524 (0.40%)	111 (0.09%)	14 (0.011%)	34231	54 (0.16%)	42 (0.12%)	3 (0.009%)
(再掲)60歳以上	20995	1014 (4.83%)	941 (4.48%)	40 (0.191%)	6606	369 (5.59%)	395 (5.98%)	21 (0.318%)

オミクロン株の1日当たりの10万人当たりの死亡人数(平均値) (R4.1.1~12.11)

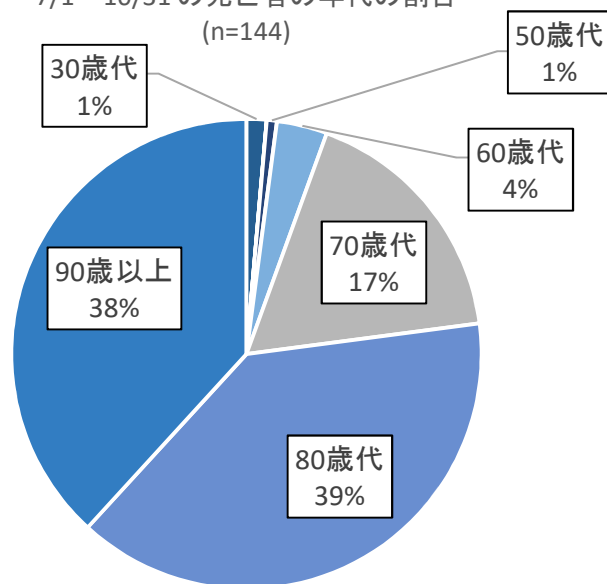


全国よりも低い水準となっている一つの要因として、入院調整をコントロールセンターが一元管理しており、うまく機能していることが考えられる。

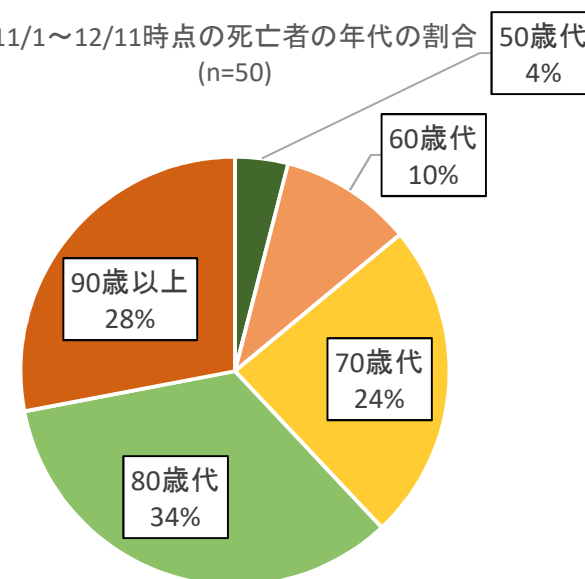
滋賀県 年代別の死亡者数と致命率

	期間: 2022/7/1～2022/10/31			期間: 2022/11/1～2022/12/11時点		
	新規陽性者数	死亡者数	致命率	新規陽性者数	死亡者数	致命率
10歳未満	23029	0	—	5492	0	—
10歳代	23254	0	—	7214	0	—
20歳代	20248	0	—	4879	0	—
30歳代	22,754	2	0.009%	5785	0	—
40歳代	24075	0	—	6493	0	—
50歳代	16254	1	0.006%	4368	2	0.046%
60歳代	9246	5	0.054%	2637	5	0.190%
70歳代	6063	25	0.412%	1964	12	0.611%
80歳代	3828	56	1.463%	1383	17	1.229%
90歳以上	1858	55	2.960%	622	14	2.251%
合計	150609	144	0.096%	40837	50	0.122%
(再掲)60歳未満	129614	3	0.002%	34231	2	0.006%
(再掲)60歳以上	20995	141	0.672%	6606	48	0.727%

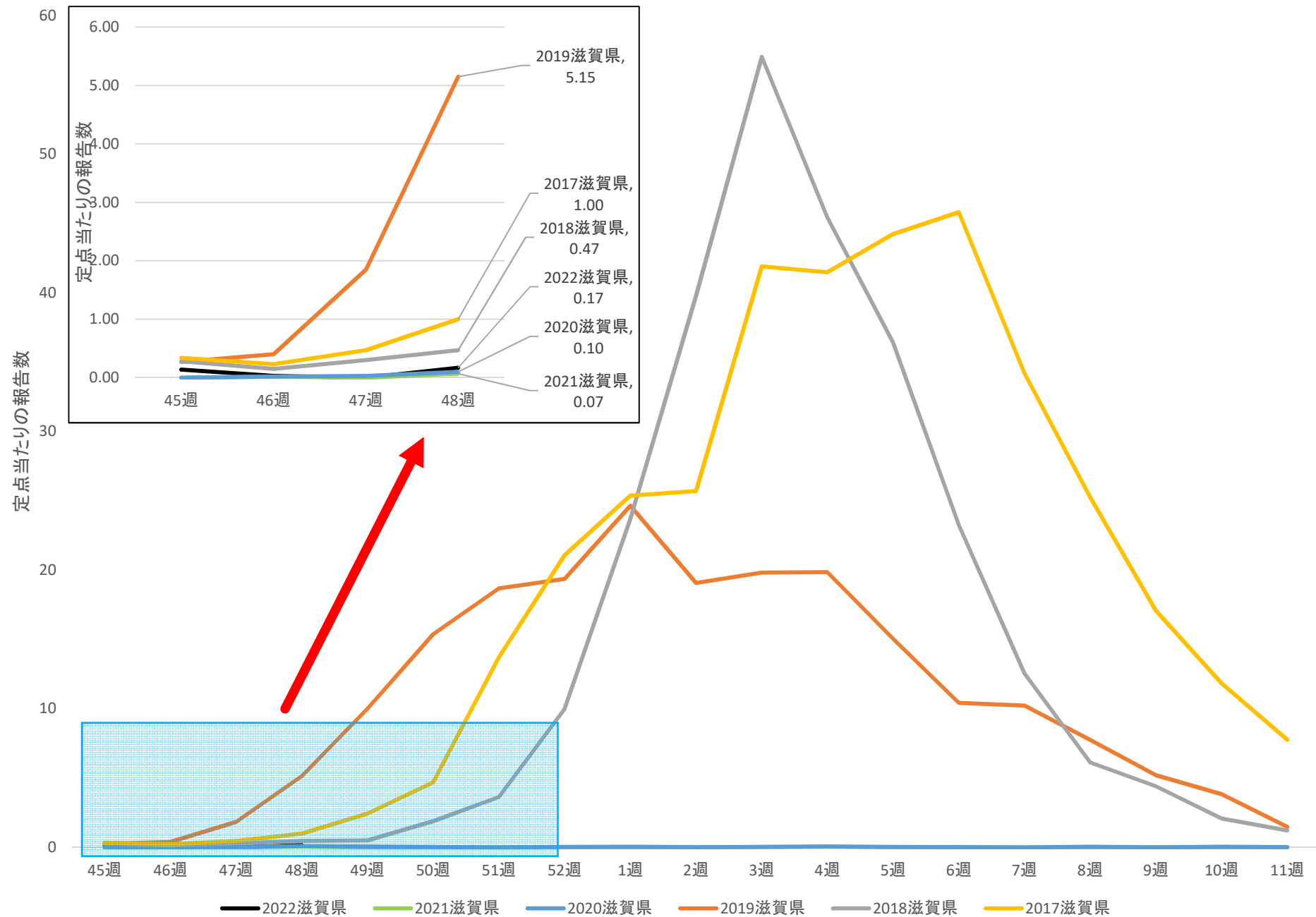
7/1～10/31の死亡者の年代の割合
(n=144)



11/1～12/11時点の死亡者の年代の割合
(n=50)



滋賀県の季節性インフルエンザ流行状況 2017年～2022年48週(～12/4)



評価

- 全国の新規陽性者数は、今夏ほど急速な増加は見られていませんが、増加傾向が続いています。
- 本県でも12月11日時点で今週先週比は1.18、直近1週間における人口10万人当たりの新規報告数は678.2人と増加傾向が見られています。年代別では、特に10歳代以下、90歳以上で高い水準となっていますが、他の年代も増加傾向が続いています。
- 最大確保病床に対する占有率は12月11日時点で66.5%と、65%以上の高い水準が続いています。重症病床の占有率は9.6%と重症患者も少しずつ増加しています。
- 場面に応じたマスク着用、常時換気、手指消毒など基本的な感染対策は継続してお願いします。高齢者等ハイリスクの方との関わりがある方は、より慎重に感染対策を実施するようにしてください。
- 高齢者施設等で感染者が増加傾向にあります。施設内感染の予防を徹底する必要があります。また、陽性者が施設内で療養する場合であっても治療を提供できるように、嘱託医や協力医療機関と事前に調整しておくことが必要です。
- 令和5年1月16日まで「年末年始ワクチン接種促進強化期間」です。ワクチンの効果は徐々に減弱するので、オミクロン株対応ワクチンを接種していない方は、この期間にもう1回のワクチン接種を検討してください。インフルエンザワクチンとの同時接種も可能です。
- 冬期にインフルエンザとの同時流行が懸念されています。本県の第48週(11/28～12/4)のインフルエンザ定点当たりの報告数は0.17と低い水準となっています。

第8波による病床ひっ迫に備えた医療体制の確保

医療体制の現状（12月11日現在）

現時点の確保病床（493床）の占有率	67.5%
最大確保病床（501床）の占有率	66.5%
うち重症者病床の占有率	9.6%

- 今後の急激な感染拡大が予測される状況下であり、病床のひっ迫に備えて緊急的な対応に移行する。
- 緊急的な対応に早期に移行し、入院医療体制をしっかりと機能させることで、感染拡大時であっても安心して療養していただける体制をあらかじめ確保する。

緊急的な対応

- ① 計画上の最大病床数501床を運用できるよう11月21日に医療機関に要請。
- ② コントロールセンターの人員を増強するとともに移送手段についても増強し、感染拡大に対応できる入院・搬送調整機能を確保。

変異株にかかるゲノム解析状況について

■全国の状況について

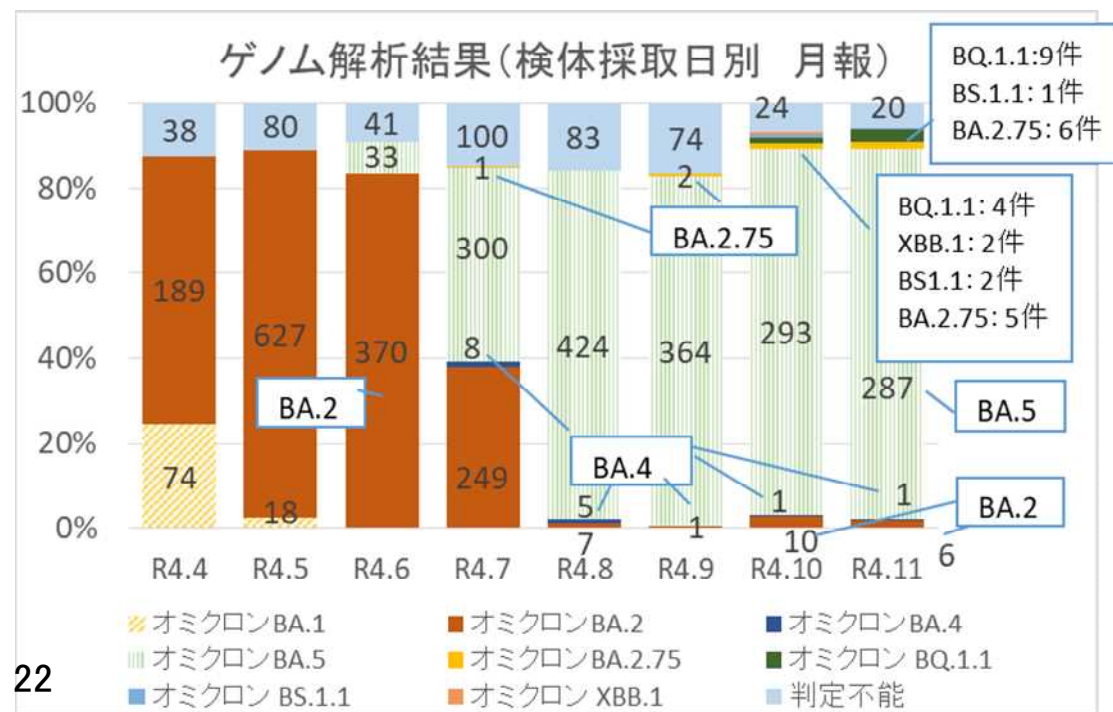
感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス(SARSCoV2)の変異株について(第22報)(2022年11月18日 国立感染症研究所)抜粋

【BA.5系統、BQ.1系統、BS.1 系統】

- オミクロンの中では多くの亜系統が発生しているが、BA.5系統が74.5%、BA.4系統が4.1%、BA.2系統が7.3%(いずれも亜系統を含む)と、引き続き世界的にBA.5系統が流行の主流となっており(WHO,2022a)、日本国内でも2022年7月頃にBA.2系統からBA.5系統に置き換わりが進み、現在もBA.5系統が主流となっている。
- 世界各地でBA.2系統やBA.5系統を起源とする亜系統が多数発生し、それらの有するスパイクタンパク質の変異から、中和抗体からの逃避能の上昇が懸念されている。局所的に優位な増加をみせる亜系統も報告されているが、特定の変異株が世界的に優勢となる兆候は見られない。
- BQ.1 系統およびBS.1 系統、XBB系統ともに、中和抗体からの逃避が示唆されているが、国内外での報告数が少ないことから、感染者数増加の優位性、重症度、治療薬の有効性への影響についての明らかな知見はなく、今後の国内外での検出状況、感染者数や重症者数の推移を注視する必要がある。

■滋賀県内の状況について

- 令和4年7月21日に県内で初めてBA.5系統が確認され、12月11日時点で計1,701件が確認されている。
- 本県では、4月1日から12月11日までに4,914件のゲノム解析結果が判明しており、うちBA.5系統は、7月時点で45.6%であったところ、8月時点で81.7%、11月時点で87.0%を占めるなど、感染の主流系統がBA.2系統からBA.5系統に置き換わっている。
- 本県でもBA.2系統やBA.5系統を起源とする亜系統(BA.2.75、BQ.1.1、BS.1.1、XBB.1)が確認されているが、BA.5系統からの置き換わりが生じている兆候はみられていない。
- 引き続き、検出状況に注視する必要がある。



今後の保健・医療提供体制について

□ 第7波はオミクロン株(BA.5)の流行により感染が拡大

第7波の特徴

- ✓ 第6波が十分に収束していない状況での急激な感染拡大
10万人あたりの新規陽性者数が75人から500人を超えるまでの日数 第6波27日→第7波19日
- ✓ 過去最大の新規陽性者数 1日最大3,281人(R4.8.19)
- ✓ 陽性者の増加に伴う自宅療養者の増加 最大25,886人(R4.8.11)
- ✓ 重症者・死亡者の割合に大きな変化は見られなかった
第6波0.17%、第7波0.13%

保健・医療提供体制への負荷が増大

- ✓ 検査件数、相談件数の増加
- ✓ 外来のひっ迫
- ✓ 病床のひっ迫、65歳以上の入院患者の割合増加 など

加えて、冬の季節性インフルエンザとの同時流行に備える必要

次の感染拡大に備えた主な取組み

令和4年10月17日付厚生労働省事務連絡「季節性インフルエンザとの同時流行を想定した新型コロナウイルス感染症に対応する外来医療体制等の整備について」等に基づき、第7波の課題を検証し、課題解決に向けた取組を実施。また、季節性インフルエンザとの同時流行を想定し、特に発熱外来をはじめとする外来医療体制の強化を図る。

外来医療体制の強化

- 同時流行が生じた場合の患者数の想定および診療能力強化のための支援の検討
- 検査キット配布・陽性者登録センター、新型コロナ診断後申告窓口の対応能力を拡充
- 同時流行に備えた物資の支援
- 相談窓口の強化
- 同時流行に備えた県民への協力の呼びかけ

入院医療体制の強化

- 病床・宿泊療養施設確保計画の見直し
- 新たな高齢者等のための宿泊療養施設の開設

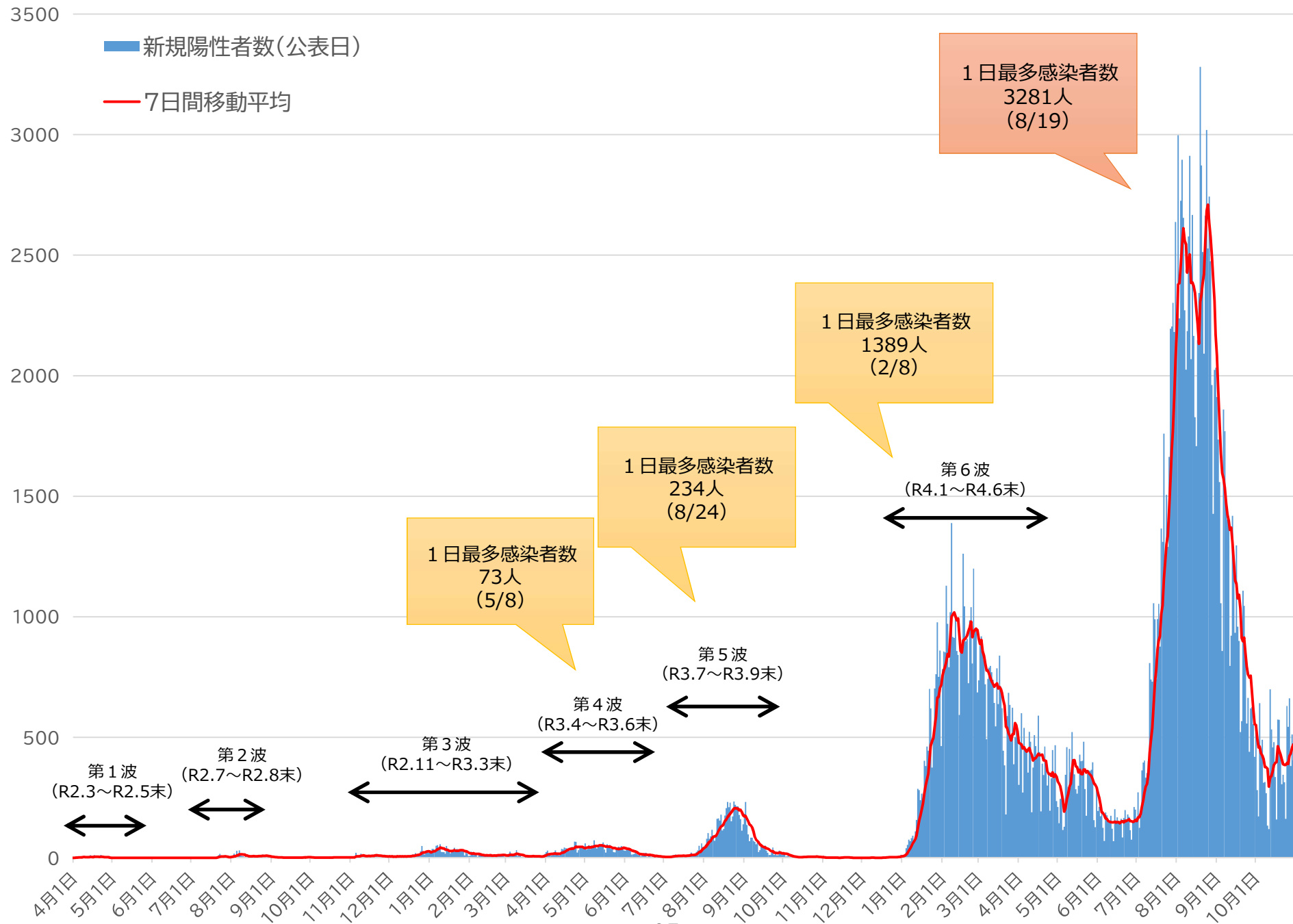
自宅療養体制の強化

- 自宅療養者等支援センターの対応能力を拡充

高齢者施設等に対する支援

- 施設内陽性者発生時の迅速・的確な対応の推進

滋賀県 第1波～第7波の流行曲線(公表日)



【取組Ⅰ】外来医療体制の強化

① 同時流行の想定と外来医療体制の強化について

- 令和4年10月17日付け国事務連絡「季節性インフルエンザとの同時流行を想定した新型コロナウイルス感染症に対応する外来医療体制等の整備について(依頼)」に基づき、同時流行時に発生する患者数および県内の発熱外来をはじめとする外来医療体制の診療能力等を把握
- 不足する外来医療体制への対応を検討

【1. 同時流行が生じた場合の患者数の想定】

- 国が示す試算モデルを用いて、第7波における全国最大患者数(人口10万対)や県内の過去最大のインフルエンザ患者数等から算出

項目		合計	新型コロナ	季節性インフル
1) 新型コロナ及びインフルエンザの1日当たりの患者数		9,105人	4,977人	4,128人
2)	① うち65歳以上の者	955人	493人	462人
	② うち中学生～64歳の者	5,607人	3,444人	2,163人
	③ ②のうち基礎疾患を有する者	280人	172人	108人
	④ うち小学生以下の者	2,543人	1,040人	1,503人
3) 発熱外来に受診する発熱患者数(陽性者登録センターに登録見込みの482人を引いた人数)		8,623人	4,495人	4,128人

【2. 現在の外来医療体制の診療能力】

- 令和4年10月に実施した県内医療機関に対するアンケート調査結果等を基に算出

項目	平日	土曜	日曜祝日
① 発熱外来等における1日の診療可能人数	11,790人	5,959人	1,862人
② 発熱外来以外の小児科標榜医療機関における1日の診療可能人数	198人	162人	142人
③ 地域外来・検査センターにおける1日の診療可能人数	259人	0人	0人
④ 検査キット配布・陽性者登録センター・新型コロナ診断後申告窓口における1日の登録可能人数	300人	300人	300人
⑤ 自宅療養者等支援センターにおける1日の体調悪化時等の相談可能人数	1,930人	1,930人	1,930人

【3. 想定される患者数等と診療能力・対応能力の見込みの比較】

- 「1. 同時流行が生じた場合の患者数の想定(1の3))」から「2. 現在の外来医療体制の診療能力(2の①+②+③)」を差し引きして算出

項目	平日	土曜	日曜祝日
想定される患者数と診療能力の見込みの差分	0人	2,502人	6,619人

【4. 同時流行時の外来医療体制の分析】

- 同時流行が生じた場合の患者数想定と現在の診療能力の比較から、平日においては現在の外来医療体制で耐えうると想定。
- 一方で、土日・祝日の外来医療体制の不足状況を踏まえると、特に、年末年始においては多くの診療所が長期間休みとなることから、医療へのアクセスが長期間困難となり、休日急病診療所や救急外来等がひっ迫する恐れがある。

【5. 対策の方向性】

- 同時流行を想定し、各医療機関に対して土日・祝日や年末年始の診療協力を呼び掛けるとともに、年末年始に開設している医療機関等に対して以下の支援を実施。
 1. 医療機関および薬局に対する開設支援
 2. 休日急病診療所へ抗原定性検査キットの無償譲渡
- 保健所圏域の特性に応じ、関係団体等と連携して年末年始の外来医療体制確保に向けて働きかける。

【6. その他の外来医療体制強化の対応】

- 診療時間の拡大や新たな診療・検査医療機関の指定の呼びかけ
- 発熱外来以外の小児科標榜医療機関に対し、小児の発熱患者の対応依頼
- 地域の実情を反映した年末年始における地域外来・検査センターの開設

② 検査キット配布・陽性者登録センター、新型コロナ診断後申告窓口の対応能力の拡充

- ・ 同時流行が生じた場合でも、外来ひっ迫を緩和し、必要な人に必要な医療が提供されるよう、医療機関や県民に対して配布する抗原定性検査キットの備蓄量を増やすとともに、配布体制を強化。
- ・ 同時流行が生じた場合を想定し、発生届対象外患者からの申告を受け付ける新型コロナ診断後申告窓口における人員体制等を強化し、1日に受付可能な申告数を増強。

事業名	項目	第7波までの体制	同時流行に向けた強化策
医療機関向け検査キット配布	検査キットの備蓄量	4,000テスト (国配布分:176,700テスト)	181,440 テスト
検査キット配布・陽性者登録センター	検査キットの備蓄量	(国配布分:108,300テスト)	152,055テスト
	配布可能数	約1,000件/日	約2,700件/日
新型コロナ診断後申告窓口	陽性者の申告受付可能数	約1,200件/日	約2,000件/日

③ 医療機関に対する物資の支援

個人防護具の配布

(1)緊急配布体制の維持

- 個人防護具は、原則、医療機関により調達いただいているが、急な需要の増加等により、調達が一時的に困難になった医療機関に対して、要請に応じて国および県から個人防護具(マスク、ガウン、手袋、フェイスシールド)を引き続き配布する。

(2)季節性インフルエンザの同時流行に備えた体制整備

- (1)の緊急配布に加えて、季節性インフルエンザの流行に備え、診療・検査医療機関(病院および診療所)に対し、国および県から個人防護具を配布する。
- 令和4年11月から令和5年3月の間に、計4回配布予定で、1回目の配布については既に希望数量調査を行っており、11月下旬から配布。

○配布スケジュール(予定)

10月	11月	12月	1月	2月
①希望調査(済)	②希望調査	③希望調査	④希望調査	
	①配布	②配布	③配布	④配布

④ 相談体制の強化

- 感染拡大時にスムーズな人材確保を可能とするため、9月中旬に看護師等の有資格者のみの対応から、専門知識が不要な相談は事務職員が対応する体制に変更。
- 次の感染拡大に備え、12月から相談受付の最大電話回線数を14回線から30回線まで増設。

⑤ 県民に対する情報提供と協力等の呼びかけ

(1)診療・検査医療機関(発熱外来)・相談窓口の情報提供

■ 滋賀県ホームページにおいて情報提供

- ・ 診療・検査医療機関は、市町や学区別に掲載するとともに、医療機関ごとに情報を掲載することで、検索しやすく見やすくしている。
- ・ 発熱などの症状がある場合の相談・受診・自己検査の流れについて、フロー図を用いてわかりやすく説明。

(2)ワクチン有効性・安全性、早期接種の呼びかけ

■ 新型コロナワクチン「年末年始ワクチン接種強化期間」の実施

(3)同時流行に備えた呼びかけ

- ・ ワクチン接種や新型コロナ抗原定性検査キット、解熱鎮痛薬の準備、受診・相談センター、#8000(小児救急電話相談)等の電話相談窓口等の連絡先の事前確認について、リーフレットで呼びかけを実施。
- ・ 感染状況を踏まえ、重症化リスクの高い方は受診、低い方はセルフチェックの対応を取っていただくよう呼びかけを実施。

同時流行に備えた呼びかけ用リーフレット

全員対象

滋賀県

ワクチン接種・新型コロナ抗原定性検査キット・解熱鎮痛薬の準備を

！ 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時に流行すると、発熱外来が逼迫する可能性があります。

早めの接種をご検討ください

- ・新型コロナワクチンの接種
早めの接種をお願いします。
- ・インフルエンザワクチンの接種
65歳以上の方などの定期接種対象者で、接種を希望される方は早めの接種をお願いします。

ワクチンに関する情報はこちら
新型コロナ インフルエンザ

発熱などの体調不良に早めに備えましょう

- ・新型コロナ抗原定性検査キットの常備
- ・解熱鎮痛薬の常備

※かかりつけ医・薬局・ドラッグストアにご相談ください。 市販の解熱鎮痛薬について

国が承認した新型コロナ抗原定性検査キットを選びましょう

検査キットの一覧を掲載しています

体外診断用医薬品 第一類医薬品 研究用

※「研究用」ではなく「体外診断用医薬品」もしくは「一般用」のキットをご使用ください。

事前に確認しておきましょう

＜受診・相談センター＞
(大津市にお住まいの方) TEL: 077-525-5411 FAX: 077-525-6161
(大津市以外にお住まいの方) TEL: 077-525-3621 FAX: 077-525-3638

＜小児救急電話相談＞(8000または077-524-7856)
【対象者】県内在住の15歳以下のお子様
【相談日時】平日 土曜日(18:00～23:00)
日曜 祝日 年末年始(9:00～23:00)

※救急車利用マニュアルについてもご参照ください。
※その他、生活必需品など(洗濯剤・日持ちする食料(5～7日分))も用意しておきましょう。

＜引用元＞厚生労働省HP「新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応」

①感染が落ち着いている状況
※呼びかけ中

重症化リスクの高い方 自己検査ができないお子様用

滋賀県

新型コロナウイルスの重症化リスクの高い方
(高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦など)・
セルフチェック(自己検査)ができない
お子様と保護者の方へ

早めの接種をご検討ください

- ・新型コロナワクチンの接種
早めの接種をお願いします。
- ・インフルエンザワクチンの接種
65歳以上の方などの定期接種対象者の方で、接種を希望される方は早めの接種をお願いします。

ワクチンに関する情報はこちら
新型コロナ インフルエンザ

発熱やのどの痛みなどの症状が出たら…

新型コロナウイルスの重症化リスクの高い方は
以下の項目や疾患に該当する方は新型コロナウイルスの重症化リスクが高いと考えられます。

□ 65歳以上 □ 喫煙歴がある □ 妊娠している □ 肥満(BMI30以上)
□ 糖尿病 □ がん □ 慢性腎臓病 □ 脳血管疾患 □ 慢性呼吸器疾患(COPDなど)
□ 高血圧 □ 胆管異常 □ 心臓病 □ 免疫機能低下の可能性

速やかに医療機関を受診してください。
新型コロナウイルス抗原定性検査キットで陽性反応が出た場合は、その結果を医師に相談してください。

かかりつけ医がある場合 かかりつけ医にご相談ください。
受診先が不明な場合 電話相談窓口などをご利用ください。
受診・相談センター などの相談窓口「救急車利用マニュアル」の参照など

セルフチェックができないお子様は

かかりつけ医や小児科医などにご相談ください。
症状は年齢などによって異なります。
軽微な場合、まずかかりつけ医に様子を見たり、かかりつけ医にご相談ください。
受診先が不明な場合 電話相談窓口などをご利用ください。
【救急車利用マニュアル】にのちの救急車利用マニュアルの参照や8000
【小児救急電話相談】など

受診・相談センター
(大津市にお住まいの方) TEL: 077-525-5411 FAX: 077-525-6161
(大津市以外にお住まいの方) TEL: 077-525-3621 FAX: 077-525-3638

小児救急電話相談(8000または077-524-7856)
【対象者】県内在住の15歳以下のお子様
【相談日時】平日 土曜日(18:00～23:00)
日曜 祝日 年末年始(9:00～23:00)

＜引用元＞厚生労働省HP「新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応」

②新型コロナや季節性インフルの感染拡大の兆しが見える状況
※呼びかけ中

重症化リスクの低い方用

滋賀県

新型コロナウイルスの
重症化リスクの低い方へ
(高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦など)
セルフチェック(自己検査)ができないお子様以外の方

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時に流行すると、発熱外来が逼迫する可能性があります。

流行時は、発熱外来の予約が取りづらくなります。
重症化リスクの高い方を守るため、新型コロナ抗原定性検査キットでのセルフチェックをご活用ください。

発熱やのどの痛みなどの症状が出たら…

ご自身で国が承認した新型コロナ抗原定性検査キットを用いて検査してください。

※薬局・ドラッグストア等で購入してください。

体外診断用医薬品 第一類医薬品 研究用

※「研究用」ではなく「体外診断用医薬品」もしくは「一般用」のキットをご使用ください。

陽性的場合 滋賀県検査キット配布・陽性者登録センターに登録して自宅療養をお願いします。

※体調変化が激しい、滋賀県自宅療養者支援センターにご連絡ください。
※検査キットの結果が陽性でも新型コロナウイルスやインフルなどに感染している場合があります。症状が軽微な場合は、かかりつけ医や、その他医師が受診を希望する場合は、お近くの診療科(クリニック)にご相談ください。

受診を迷う場合

電話相談窓口などをご利用ください。また、「救急車利用マニュアル」についてもご参照ください。

受診・相談センター (大津市にお住まいの方) TEL: 077-525-5411 FAX: 077-525-6161
(大津市以外にお住まいの方) TEL: 077-525-3621 FAX: 077-525-3638

小児救急電話相談 (8000または077-524-7856)
【対象者】県内在住の15歳以下のお子様
【相談日時】平日 土曜日(18:00～23:00)
日曜 祝日 年末年始(9:00～23:00)

症状が重いなど受診を希望する場合

お近くの医療機関(病院等)にご相談ください。

ワクチンの早期の接種についてもご利用ください。

＜引用元＞厚生労働省HP「新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応」

【取組Ⅱ】入院医療体制の強化

① 病床・宿泊療養施設確保計画の見直しについて

■計画変更

- 病床・宿泊療養施設確保計画について、現在のオミクロン株流行を踏まえた数値に更新。
- 現在の緊急フェーズにおける確保病床数は501床。今後の感染拡大に備えて引き続き緊急フェーズ時の最大確保病床数を維持するとともに、一般医療との両立のためより感染状況に応じたフェーズ移行ができるよう運用基準を見直し。
- 宿泊療養施設については、第7波の課題を踏まえ体制を見直し。新たに高齢者等のための宿泊療養施設を開設(後述)。草津第一ホテルの運用を終了。

感染急拡大時想定 病床500床 + 宿泊療養施設※518室(うち稼働数450室)

※ホテルルートイン草津栗東277室、東横イン彦根209室、高齢者等利用32室(ホテルピアザびわ湖16室、ヴォーリス旧病棟16室) = 計518室

	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	緊急フェーズ
確保病床	200	280	340	400	500
ホテルルートイン草津栗東	120(100)	120(100)	277(200)	277(238)	277(238)
東横イン彦根	100(85)	100(85)	209(150)	209(180)	209(180)
ホテルピアザびわ湖	16(15)	16(15)	16(15)	16(16)	16(16)
【新】ヴォーリス旧病棟	16(15)	16(15)	16(15)	16(16)	16(16)
合計	452(415)	532(495)	858(720)	918(850)	1018(950)

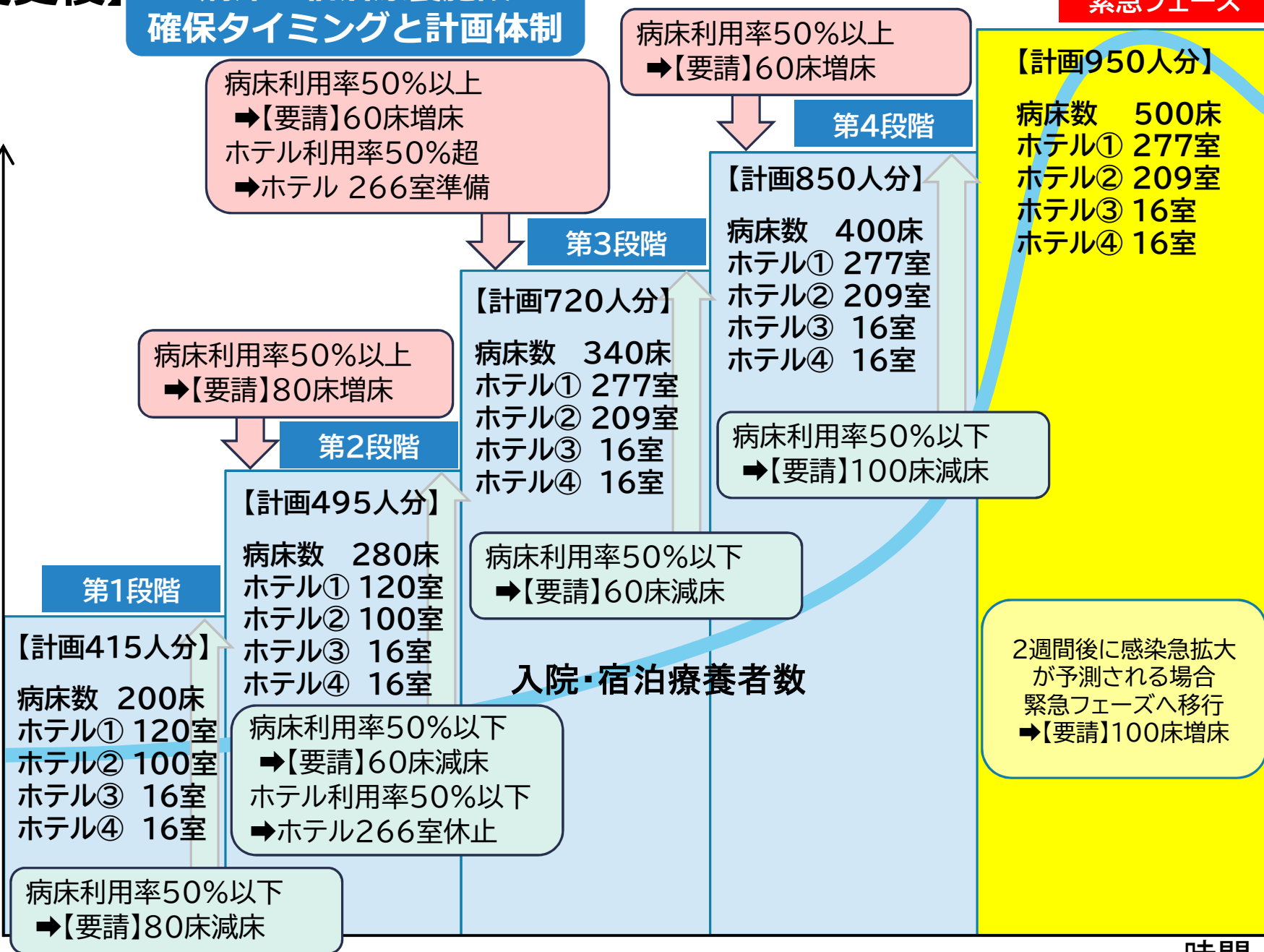
カッコ内が想定療養者数

【変更後】

病床・宿泊療養施設 確保タイミングと計画体制

緊急フェーズ

患者数



時間

② 宿泊療養施設の機能強化

新たに高齢者等のための宿泊療養施設を開設

受入対象想定

重症化リスクを有するなど特別な配慮を要する高齢者等で、見守りや手助けが必要な軽症患者

- コロナ患者としては軽症であるが、入院対応となっていた方を受け入れることで、受入医療機関の負担軽減を図るとともに、療養中も介助が必要な患者により添った対応を行う。

体制

- ・ 医師・看護師に加え、介護職を配置し手助けが必要な方に対応
- ・ 旧病棟を利用し、常時見守りを行うとともに、食事面・施設面などでも療養者に配慮。
- ・ 必要に応じて経口治療薬等を投与
- ・ 最大16名を受け入れ

場所 ヴォーリス記念病院(旧病棟)
(近江八幡市内)

運用開始日 令和4年12月13日



新たな高齢者等専用宿泊療養施設外観 場所:ヴォーリス記念病院(旧病棟)

【取組Ⅲ】自宅療養体制の強化

① オンライン診療、往診等の治療体制、食料品支援体制の確保

- 療養中の症状変化に応じて必要な治療に速やかにつながられるよう、引き続き地域の医療機関等の協力のもと、往診・電話・オンライン診療の実施および適用患者への治療薬の円滑な投与のための体制を確保。新たな経口治療薬が承認された場合にも、処方可能な医療機関・薬局の登録を進め、速やかに投与体制を整備する。
- 災害時に必要な支援を受けられるよう、県・市町間にて療養者の情報共有を継続。
- 食料品支援については、必要とする療養者に速やかに配送できるよう、実施体制を確保するとともに、速やかな支援につなげるため検査キット配布・陽性者登録センター、滋賀県新型コロナ診断後申告窓口への陽性者登録を周知していく。

② 自宅療養者等支援センターの対応能力の拡充

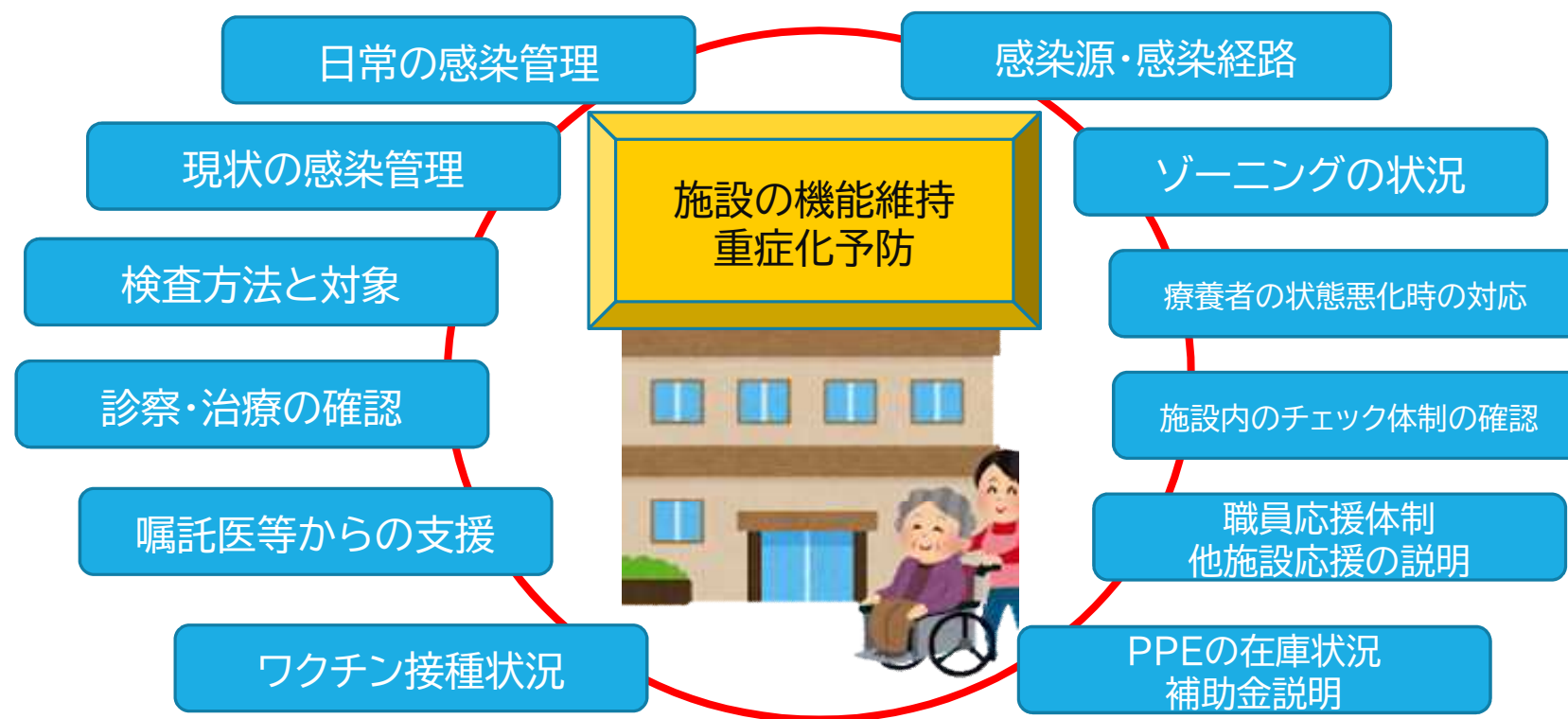
- 陽性者が体調悪化時等に相談可能な「健康フォローアップセンター」として、引き続き24時間体制で稼働し、症状等に応じて受診調整等を行うほか、入院が必要な際には、コントロールセンターを通じた速やかな入院・搬送調整を行う。
- 体調悪化時等の相談先について、陽性者登録時や医療機関での診断時等、機会を捉えて確実な周知に努めていく。
- 今冬の想定陽性者数であっても、体調悪化時等の相談に対応可能な体制（電話回線、人員等）を確保し、感染状況に応じて速やかに対応していく。

【取組Ⅳ】高齢者施設等に対する支援

①施設内陽性者発生時に迅速・的確に対応するための備え

- 高齢者施設における感染対策の基本およびクラスター対策チームが施設訪問した際に確認する具体的な対策のポイントを広く情報提供する。
- クラスター対策チームが施設訪問時に確認している事項を調査シートおよびチェックリストとしてとりまとめ、保健所と共有することにより、保健所が調査実施する場合の参考資料としての活用および県内統一的な情報収集の実施を図る。
- 利用可能な様々な情報を用いて、施設内療養者の早期探知を図る。
 - ✓ 保健所からの依頼により施設療養の技術的支援を行う。
 - ✓ 新規陽性者を認めた場合にFAXにより施設と関係課で情報共有を行う。
 - ✓ HER-SYSおよびEBS事業の申し込み情報に基づいて施設へ連絡し、療養者の有無を確認する。
- 医療機関に対しては、クラスター対策チームが施設訪問時に確認・提案している事項を国の新型コロナウイルス感染症対策本部の通知と解説資料とを併せて配布することにより、統一的かつ適切な対策の実施を図る。

施設内療養等支援による確認事項と対策目標



- 感染管理や対策（基本知識からPPE着脱やゾーニング等）、医療提供（医師との連携や経口抗ウイルス薬投与等）、検査方法と対象、対策確認の方法、職員が不足した際の対応、など幅広い確認および助言を行うことで『施設の機能維持』および『重症化予防』が図れるよう支援を継続する。
- 施設の日常的な対策、対策方針などを加味し、継続できる方法を施設職員との協議により決定している。

自宅療養の状況

●自宅療養者等支援センター 対応状況

10月31日 ～ 12月11日

週	健康観察対象者 (1日あたり) ※1	支援対象者 (1日あたり) ※2	受電件数 ※3		CC調整件数		受診調整件数		従事者数 (1日あたり)
			総数	1日あたり	総数	1日あたり	総数	1日あたり	
10/31の週 (10/31-11/6)	239	2,574	1,312	187	45	6.4	32	4.6	43
11/7の週 (11/7-11/13)	335	3,333	1,455	208	46	6.6	40	5.7	44
11/14の週 (11/14-11/20)	388	3,732	1,522	217	63	9.0	58	8.3	44
11/21の週 (11/21-11/27)	653	4,058	1,510	216	47	6.7	54	7.7	47
11/28の週 (11/28-12/4)	606	5,716	1,507	215	62	8.9	52	7.4	49
12/5の週 (12/5-12/11)	735	5,547	1,753	250	65	9.3	52	7.4	54
12月11日 (※24時時点)	807	6,059	190		12		2		57

令和4年9月26日からの全数届出の見直しにより

※1 発生届対象者を示す。

※2 発生届非対象者で、検査キット配布・陽性者登録センター、新型コロナ診断後申告窓口に登録、申告済みの陽性者のうち、HER-SYSに登録された者を示す。

※3 検査キット配布・陽性者登録センター、新型コロナ診断後申告窓口に未登録・未申告の陽性者等から受電した件数を含む。

●食料品支援者数

7月1日 ～ 12月11日

12月11日 時点(総数)	40,396 人
----------------------	-----------------

受付件数 (総数)	29,891 件
しがネット受付	26,515 件
電話受付	3,376 件

(参考) 1日あたり受付件数

10/31の週 (10/31-11/6)	41
11/7の週 (11/7-11/13)	45
11/14の週 (11/14-11/20)	51
11/21の週 (11/21-11/27)	67
11/28の週 (11/28-12/4)	74
12/5の週 (12/5-12/11)	84
12月11日	69

●パルスオキシメーターの確保数

(自宅療養者に、家庭内は共有するなど必要数を貸出)

	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	支援 センター	計
確保数	1,650	421	245	676	337	414	118	6,093	9,954

123

計	10,077
----------	---------------